

# 令和4年度 学校総合評価

富山県立高岡高等支援学校

## 6 今年度の重点目標に対する総合評価

学校の現状を踏まえ、今年度の重点課題として①健康的な生活習慣を獲得するための自己管理能力の育成、②生徒が主体的に進路について考えるための企業等との連携の推進、③本校を進学先の一つと考えている中学生に対する教育相談活動の充実の3項目を挙げた。

各重点課題の評価については、達成度及び具体的な取組状況から総合的に判断し、①②③ともに「A：達成した」とした。学校評議員からは、それぞれの重点課題について、以下の評価や提言をいただいた。

### (1) 重点課題①

- ・ICTによる視覚的な指導により、生徒の理解が深まり、実践意欲に結び付いている。
- ・歯科指導は健康を維持するためには大切なことである。指導を継続していくことで、生徒の意識が高まり、定着につながる。

### (2) 重点課題②

- ・職場開拓は、すぐに成果が現れないが、ハローワークなど関係機関の力も借りて、進めていってほしい。
- ・教職員には助成金制度等の知識も必要になる。

### (3) 重点課題③

- ・再編成した最新版の「Q&A」は、良くまとまっており、本校のことがよく分かる。機会があるごとに更新しており、教職員で共有できるので継続すると良い。
- ・学校ホームページは格段に見やすくなり、必要な情報が得やすくなった。

## 7 次年度へ向けての課題と方策

今年度の重点課題の次年度へ向けた方策等は以下のとおりである。今年度の成果を踏まえ、次年度も「卒業後の一般企業等への就職を目指す学校」としてのよりよい取組を進めていきたい。

### (1) 重点課題①

- ・生徒が主体的に口腔内環境を整えようとすることができるよう、より有効な指導の仕方を検討し、生徒用タブレット端末に入力した各自のデータを活用しやすいように整理する。
- ・歯科検診の機会を活用した指導計画と指導内容を、スムーズに引き継げるようにする。

### (2) 重点課題②

- ・「就労応援団とやま」登録企業への啓発が進むよう、本校の企業向け見学会への参加を継続して促し、本校の取組や生徒の様子を理解と協力を結び付けていく。
- ・職場見学は、来年度も生徒が見学先を選択できるようにするなど主体的な学びを引き出すようにする。

### (3) 重点課題③

- ・「Q&A」に目次を付け、活用する教職員が、内容を把握したり自分の知りたい情報を探したりしやすくする。
- ・今後も閲覧者にとってより分かりやすく、知りたい情報を得やすい学校HPとなるよう、中学校訪問や学校見学会、企業向け見学会等の機会に参加者に意見をもらう。

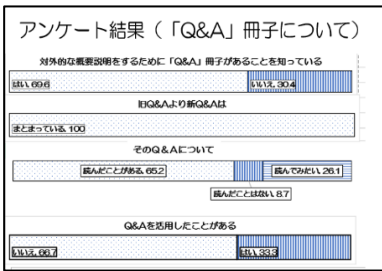
5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和4年度 高岡高等支援学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学校生活
重点課題	健康的な生活習慣を獲得するための自己管理能力の育成
現 状	<p>本校は歯周疾患保有者が県平均（15.5%）に比べ、29.3%と多く、歯垢保有率も県平均（20.1%）に比べ39.6%と多い。</p> <p>本校の生徒は自分の生活を振り返って進んで改善しようとしたり、より健康的な生活態度を身に付けようとしたりすることが難しい。歯科指導において毎年、カラーテスターを使用した歯磨き指導や動画を活用した指導も取り入れて実施しており、指導直後は歯みがきの必要性を意識し、歯垢を残さない歯磨きをすることができる。しかし、時間が経つと指導の効果が薄れ、なかなか定着しない。</p> <p>う歯は受診や治療を要するため、家庭との連携が必要であり、本人の意識だけで改善することは難しい。しかし、歯周疾患や歯垢については、生徒自身が口腔内の清潔を意識し行動することで症状を改善することができる。口腔内を清潔に保つことで自分の健康課題に気付き、健康行動の獲得につなげていくことが必要である。</p>
達成目標	<p>①口腔衛生に関する各自の課題を見付けることができた生徒の割合 90%</p> <p>②健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の向上がみられた生徒 70%</p>
方 策	<p>○ICTを活用した視覚的な「気付き」を促す指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診前の口腔内のセルフチェック</li> <li>・歯科検診時の口腔内の写真撮影、歯科医のコメントの記録</li> <li>・歯科検診時の口腔内写真で各自の振り返りを行い、改善点を見付ける</li> </ul> <p>○生活習慣病予防の要素も含めた、養護教諭による歯科指導をクラス単位で実施する。</p> <p>○歯科検診後に定期的に口腔内セルフチェックを実施する。</p> <p>○指導の事前事後に生活習慣アンケートを実施し、健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の変化を図る。</p>
達成度	<p>① 100%</p> <p>② (100%)</p>
具体的な取組状況	<p>○ICTを活用した指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ機能の活用：歯科健診時（口腔内写真、歯科医コメント）、口腔内セルフチェック写真、カラーテスター結果写真</li> <li>・個人記録としての活用：歯科検診記録、生活習慣アンケート結果データ、カラーテスター結果データ</li> <li>・映像教材の活用：YouTube 動画、インターネット画像</li> </ul> <p>○養護教諭による歯科指導（総合、HR、保健体育の授業で全学年実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グーグルクラスルームを活用し、口腔内写真などで各自が振り返りを行い、「毎日鏡を見て磨きたい」「時間をかけて歯を磨きたい」などの改善点を見付けることができた。</li> <li>・生徒は歯垢の中の細菌のリアルな動画や歯石の画像を見ることで、歯垢を残さない歯磨きの重要性に気付くなど口腔衛生への意識が高まった。</li> </ul> <p>○生活習慣アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果をレーダーチャートで見返すことで自分の生活習慣を視覚的に捉え、友達と比べるなどして健康課題を考えることができた。</li> </ul>
評価	<p>A 目標を達成したのでAとした。</p>
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTによる視覚的な指導により、生徒の理解が深まり、実践意欲に結び付いている。</li> <li>・歯科指導は健康を維持するためには大切なことである。指導を継続していくことで、生徒の意識が高まり、定着につながる。</li> </ul>
次年度へ向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に口腔内環境を整えようとすることができるよう、より有効な指導の仕方を検討し、生徒用タブレット端末に入力した各自のデータを活用しやすいように整理する。</li> <li>・歯科検診の機会を活用した指導計画と指導内容を、スムーズに引き継げるようにする。</li> </ul>

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)

重点項目	進路指導	
重点課題	生徒が主体的に進路について考えるための企業等との連携の推進	
現 状	<p>本校生徒は卒業後の一般企業等への就労を目指し、企業等での就業体験を繰り返す中で、就労先を決定していく。そのため、各学年、年に2～3回計画している就業体験に向けて、生徒の特性や適性をふまえた体験先となる企業を確保し続ける必要がある。その際には、就業体験が生徒の主体的な学びの場になるよう、生徒の希望に合った職種について情報提供できることが望ましい。</p> <p>そこで、本校について理解、就業体験や職場見学等への協力を得られる企業を増やすため、平成28年度より「TKS（高岡高等支援）未来応援団」を立ち上げた。また、企業向け見学会、特別支援学校就労応援コーディネーターによる職場開拓などを行ってきたことで、徐々に就業体験に協力する企業が増えてきた。令和2年度より、富山県が立ち上げた「特別支援学校就労応援団とやま」においても、趣旨に賛同し、登録する企業が少しずつ増えてきたが、登録企業との連携が十分に図れていない現状がある。</p> <p>さらに、近年のコロナ禍が影響して、生徒が実際に企業を見学する機会が確保できず、生徒自身が企業就労を自分のこととして捉えることが難しくなっている。</p>	
達成目標	<p>① 学校見学参加企業が本校への理解を深め、連携について前向きに考えることができる。</p> <p>② 生徒が、職場見学後、就労への意識を高めることができる。</p>	
方 策	<p>① 「就労応援団とやま」登録企業を対象とした企業向け見学会において、学校の取組についての説明や授業見学の内容を充実させ、本校生徒及び障害者雇用への理解を促し、連携について前向きに考えてもらえるようにする。</p> <p>② 「就労応援団とやま」登録企業に、職場見学の依頼をすると共に、職種別に3つの見学コースを設定し、生徒がコースを選んで参加できるようにする。実施の過程では、生徒の将来への選択肢が広がることを目標にして取り組むようにする。</p>	
達 成 度	<p>① 生徒の就業体験を新たに受け入れる企業が増え、本校への理解が深まった。</p> <p>② 全員の生徒が、興味のある職種について理解を深めることができた。</p>	
具体的な取組状況	<p>① 企業向け見学会に向けて、県西部にある「就労応援団とやま」登録企業を中心に、41社に案内を発送したところ、11企業から15名の参加があった。見学会では、本校卒業生の就職先企業の担当者から障害者雇用の具体的な事例を紹介してもらった。見学会後、初めて生徒の就業体験を受け入れてくださる企業（1社）や、新たな生徒の就業体験受け入れを検討してくださる企業があり、本校生徒への理解につながった。</p> <p>② 見学コースを決める際のアンケートでは、理由も含めて記入する生徒が多く見られ、主体的な進路選択につながる取組みとなった。また、見学後のアンケートには、「アイロンがけに興味がある」「職場は整理整頓がされていた」「道具を使って仕事してみたい」など具体的な感想が多く、実際に見て感じることの重要性が伝わってきた。また、見学に行った企業で就業体験を行った生徒（1名）を含め、多くの生徒が見学した職種の知識を基に就業体験先を決めることができた。</p>	
評 価	A	目標を達成したのでAとした。
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場開拓は、すぐに成果が現れないが、ハローワークなど関係機関の力も借りて、進めていってほしい。</li> <li>・教職員には助成金制度等の知識も必要になる。</li> </ul>	
次年度へ向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就労応援団とやま」登録企業への啓発が進むよう、本校の企業向け見学会への参加を継続して促し、本校の取組や生徒の様子理解と協力に結び付けていく。</li> <li>・職場見学は、来年度も生徒が見学先を選択できるようにするなど主体的な学びを引き出すようにする。</li> </ul>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)

重点項目	その他 教育相談・総務	
重点課題	本校を進学先の一つと考えている中学生に対する教育相談活動の充実	
現 状	<p>創立10周年を迎え本校の教育活動について周知されつつあるが、中学校の生徒、保護者、新任の担当者等に対しては、常に本校の理解促進を行う必要がある。</p> <p>本校は、中学生の進路に係る教育相談が多く、高等学校における就労支援のセンター的役割も担っている。年々、教育相談行事等で卒業後の就労生活についての質問が増加していることから、本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)をニーズに応じて見直していく必要がある。</p> <p>また、本校のホームページ(以下HP)は、啓発活動の一つとして開校初年度から学校の概要や日々の授業、行事等、本校の教育活動を紹介し情報提供してきた。HPの閲覧者(本校を進学先の一つと考えている中学生及び保護者、同窓生、関係機関、企業等)にとって、分かりやすく必要な情報を得られるように、HPの見直しを図る必要がある。</p>	
達成目標	<p>① 本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)の「進路について」の項目の内容を見直す。</p> <p>② 学校行事への参加が制限される状況下でも、情報を得やすく活用しやすいHPの構成や内容について検討する。</p>	
方 策	<p><b>より良い教育相談を目指した視聴覚資料の作成と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校教育活動の様子を画像や動画を活用した資料にまとめ、ニーズに応じて提示する。</li> <li>中学校訪問での質疑応答や過去の教育相談、教育相談行事での質問内容についての回答を整理し、本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)を再編成し、関連行事等で活用する。</li> </ul> <p><b>学校HPの再構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HPについて、他校のHPを参考しながら改善点や要望等を集約する。</li> <li>閲覧者にとって情報を得やすい構成、内容について検討し整理する。</li> </ul>	
達成度	<p>① 本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)を全面的に見直して再編成し、活用している。</p> <p>② 県のCMS導入を機に、学校HPの構成や内容を大幅に見直して更新した。</p>	
具体的な取組状況	<p><b>より良い教育相談を目指した視聴覚資料の作成と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の本校教育活動の様子を画像や動画を活用し、資料にまとめ直し、中学校訪問、学校見学会、教育相談等で、ニーズに応じて提示した。</li> <li>過去の中学校訪問や教育相談、教育相談行事での質問内容とその回答を整理し、本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)を再編成した。関連行事等で活用している。</li> <li>再編成した「Q&amp;A」に関する本校教員のアンケートでは「まとまっている」「新しい情報を学校全体で共有できて良い」などの意見があった。</li> </ul> <p><b>学校HPの再構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県のCMS導入により、学校HPを更新した。校内の各部署からの要望や意見を集約して掲載情報をまとめ、閲覧者の視点やニーズを意識して、従来の学校HPの構成や内容、デザイン等を大幅に改善することができた。</li> <li>更新した学校HPに対する本校教員のアンケートでは、見やすくなったとの意見が多かったが、投稿方法については、まだ慣れないためか個人差があるようだ。</li> </ul>	 <p>アンケート結果（「Q&amp;A」冊子について）</p> <p>対外的な概要説明をするために「Q&amp;A」冊子があることを知っている</p> <p>見ない 0%   見ている 100%</p> <p>冊子より新Q&amp;A</p> <p>見ない 0%   見ている 100%</p> <p>そのQ&amp;Aについて</p> <p>見ることがある 65.2%   見ない 28.1%   見ることがあると見ない 7%</p> <p>Q&amp;Aを活用したことがある</p> <p>見ない 33.3%   見ている 66.7%</p>
評 価	A	目標を達成したのでAとした。
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>再編成した最新版の「Q&amp;A」は、良くまとまっており、本校のことがよく分かる。機会があるごとに更新しており、教職員で共有できるので継続すると良い。</li> <li>学校ホームページは格段に見やすくなり、必要な情報が得やすくなった</li> </ul>	
次年度へ向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Q&amp;A」に目次を付け、活用する教職員が、内容を把握したり自分の知りたい情報を探したりしやすくする。</li> <li>今後も閲覧者にとってより分かりやすく、知りたい情報を得やすい学校HPとなるよう、中学校訪問や学校見学会、企業向け見学会等の機会に参加者に意見をもらう。</li> </ul>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成しなかった D:達成しなかった)